

奥村雄樹——ジュン・ヤン

星野 太 著

A5 判変形・定価 1050 円 (本体価格 1000 円+税)

2013 年 4 月発売

発行：美学出版



この小さな書物は、奥村雄樹の《ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー》(2011) という作品をめぐるささやかな論考と、若干の作品図版からなっている。その意味で、本書はこの《ジュン・ヤン》という作品の外に、ある余分な位置を占める一冊だと言えるだろう。

……

付随的／非付随的といったタイプの二者択一は、本質的なものと非本質的なものを性急に画定しようという態度にも似た、どこか素朴な思考の形式に属している。そのような付随的／非付随的という二者択一が困難になるような場面へと向けて本書は執筆されている。

……

本書の導きとなる幾つかの言葉—subtitle, shifter, becoming, parasite—は、そうした従属／非従属という図式に抵抗するためのささやかな概念の群れである。

「はじめに」より抜粋

星野 太 HOSHINO Futoshi

1983 年生まれ。美学、表象文化論。東京大学大学院総合文化研究科博士課程満期退学。現在、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属 共生のための国際哲学研究センター (UTCP) 特任助教。編著に『拡張される網膜 | Expanded Retina』(BAMBA BOOKS、2012 年)、共著に『組立 知覚の臨界』(組立、2010 年)、『KAWADE 道の手帖 大杉栄』(河出書房新社、2012 年)、共訳書にジェフリー・スコット『人間主義の建築』(鹿島出版会、2011 年)、エイドリアン・フォーティ『言葉と建築——語彙体系としてのモダニズム』(鹿島出版会、2006 年) など。

奥村雄樹 OKUMURA Yuki

1978 年生まれ。芸術家、翻訳家。東京藝術大学大学院博士後期課程修了。近年の主な個展に「くろうかいぼうがく・落語編」(MISAKO & ROSEN、東京、2010 年)、「ジュン・ヤン 忘却と記憶についての短いレクチャー」(アートスペース 1、東京藝術大学博士審査展、2011 年)、「善兵衛の目玉(宇宙編)」(愛知県美術館、2012 年)、グループ展に「ARAKAWA HIRATA OKUMURA TANAKA」(ラスター、ワルシャワ、2012 年)、「MOT アニュアル 2012 Making Situations, Editing Landscapes 風が吹けば桶屋が儲かる」(東京都現代美術館、2012 年)、パフォーマンス・イベントに「14 の夕べ」(東京国立近代美術館、2012 年) など。

Photo: Shizune Shuigi

注文書

この書籍は一部のミュージアムショップ、美術専門店、Gallery、および小社直接販売での取扱いとなっております。ご注文は小社へメールまたはファクスでお願いいたします。

星野 太 著 『奥村雄樹——ジュン・ヤン』を 冊申し込みます。

ご氏名	Eメール
ご住所 (〒 -)	
お電話	FAX

*ご入金を確認後、直送いたします。(送料は当方負担)

*ゆうちょ銀行 019 店 (当座) 0418568 美学出版 *銀行振込みをご希望の方はお問い合わせ下さい。

美学出版

email : info@bigaku-shuppan.jp